



なんぶ

議会だより

第82号

令和6年12月議会
発行/令和7年2月



作って楽しい！
しゃべって楽しい！
食べて楽しい！

- 議長あいさつ……………2
- 12月定例議会……………3～5
- 一般質問ダイジェスト、
議会活動日誌……………6
- 一般質問……………7～15

- 令和7年度町政へ対する要望
……………16、17
- 探検隊……………18

右のQRコードから「議会だより」が見られます。



12月定例議会

令和6年度12月定例議会は12月13日(金)から25日(水)までの会期で開催され、一般会計補正予算及び特別会計補正予算、条例の一部改正7議案、公の施設指定管理の指定15件、追加案件2件及び陳情3件の発議案含む39件が審議され、全て承認された。

令和6年度南部町一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出予算にそれぞれ1億110万円を追加し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ89億609万円とする。

農業支援が
拡充される
賛成多数で可決

主な事業

障害者自立支援介護給付費の増額。懸案事項である統合保育園整備事業予定地の電柱の移設工事費。農地耕作条件改善事業、農地中間管理機構集積協力金、カメムシ被害対策やスマート農業社会実装加速化のための補助等の補正予算であった。



	補正額	合計
・交通安全自主対策事務費 ……高齢者等免許証自主返納支援事業の増額（ふれあいバス1年間無料バス又は行政ポイント1万円補助）	43万円	136万円
・統合保育園運営事業 ……建設予定地に隣接する電柱の移設	263万円	3億9421万円
・果樹生産振興事業 …果樹カメムシ発生、被害防止の網掛け施設支援事業	600万円	1050万円
・スマート農業社会実装促進事業 ……新たな認定農業者の事業実施	450万円	450万円

討論

反対

統合保育園に関する電柱の移設について補正予算を出してきているが、規模や事業の総額等議会や住民に明らかにし、修正をかけていくべきだ。農振除外の手続き等問題があり、計画そのものの見直しが必要。住民監査請求で出てきた民間移管の方が有利だという点について説明が出来ていない。

賛成

現在道路の拡張工事が始まっている。電柱を移設する計画は当然で必要な予算である。新しい保育園に通わせたいという保護者の方々もたくさんおられる。基本計画を軸に常に監視監督をし、変更あればしっかりと説明をし、現在の計画どおり開園できるよう努力して頂きたい。

議員名（議席番号順）	秋田	井原	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	真壁
令和6年度南部町一般会計補正予算(第5号)	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×



保育園入口道路工事



スマート農業



果樹カメムシ網掛

新年議長あいさつ

南部町議会議長 景山 浩

新年あけましておめでとうございます。旧年中は南部町議会並びに議員活動にご理解、ご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げますとともに、本年も変わらざるようしくお願いいたします。

さて、昨年10月の議会議員選挙後初の定例議会が12月13日から13日間にわたり開会されました。

10人の議員による一般質問並びに執行部提案30議案、議員発議6議案、陳情3件の審査を行いました。審査結果は巻頭に記載の通りとなっています。

さて、昨年は元日に能登半島で大地震が発生し多くの被害が出るなど波乱の幕開けでしたが、今年は年末年始と積雪や厳しい冷え込みもなく、穏やかな年明けとなりました。

しかし、国内外を見渡せば、少子化・人口減少問題はもとより、

エネルギー価格の高騰をはじめとした物価高、自公政権の不安定化、終わりの見えないロシアのウクライナ侵攻、自国第一主義をうたったトランプ政権の復活、韓国の政治不安など、まさに内憂外患とも言える政治経済状況が出来しています。

そのような状況下、私たち議会や議員には住民福祉の維持・向上のため、いち早く社会変化や課題発生の兆しをつかむ情報収集・分析力、そして課題解決のための提案力がより求められることとなります。

今年は、「出かけ、話を聞く議会」として多方面の町民皆様のご意見やご要望を聞き、意見交換を行う機会を増やすとともに、議会・議員活動の先進事例や好事例を積極的に学んでいきたいと考えています。



発議

議員が「議案」（3人以上の賛同）を議長に提出すること。また、採択された請願・陳情を議会の意思として、意見書を国会又は関係行政庁へ提出する。

発議案	案件名	可否
第10号	学童保育での保育に欠ける事項の見直しを求める意見書	全員一致で可決
第11号	消費税の緊急減税を求める意見書	賛成少数で否決
第12号	企業・団体からの政治献金を全面禁止を求める意見書	賛成少数で否決
第13号	議会改革調査特別委員会の設置について	全員一致で可決
第14号	可燃ごみ処理広域化等影響調査特別委員会の設置について	全員一致で可決
第15号	統合保育所統合建設調査特別委員会の設置について	全員一致で可決

追加議案

定例議会開催中に会計補正、条例等の議案の必要が生じた場合、最終日に提案される。

令和6年度南部町一般会計補正予算
（第7号）

歳入歳出予算の総額に8940万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ90億5874万円とする。

物価高騰対策

全町民へ「たすかーど」に
5,000円分のポイントを交付
全員一致で可決

議会から町長へ意見書を提出

学童保育での「保育に欠ける」事項の見直しを求める意見書

町ホームページ内「放課後児童クラブに関すること」の記載内容に放課後児童クラブの入級を断る事由として「農業従事者は保育できるものとする」の明記が確認された。

これは明らかに農業従事者を他の自営業と区別しており、農業と農業従事者の実態と就労状況を見無視した、正当な理由が示しえない内容であり、農業従事者への職業差別と言わざるを得ない。公平・公正を期す自治体事務としてはあり得ない事態である。

当該事案に対し、以下の点について対応することを求め、即刻の是正を求める。

記

1. 当該事案の発生経緯等調査を行い、その内容をホームページ・広報により広く周知すること。
2. 当該事案により、不利益を被ったものについての調査と適切な対応を行うこと。
3. 関係者・町民に謝罪をし、再発を防止するための対策をとること。
4. 「保育に欠ける」事項の定義について再度の見直しをすること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和6年12月25日

鳥取県西伯郡南部町議会

【提出先】南部町長



条例の一部改正

全員一致で可決

●南部町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

家庭的保育施設における満3歳児及び満4歳児以上の児童に係る保育士等の配置基準の見直し等の改正を行う。

●南部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

施設の重要事項の書面掲示の義務付けを見直し、書面掲示に加え、インターネットを利用して公衆に閲覧する等の改正を行う。

公の施設の指定管理の指定について

全員一致で可決

公の施設の指定管理の指定議案が、南部町ふれあい広場緑水湖オートキャンプ場 他、14施設について提案された。

＜主な指定管理施設＞



えぶろん



コテージ



緑水園



緑水湖オートキャンプ場



大田園スクエア



南さいはく「かまくら山荘」

特別会計他補正予算

（単位：万円）

案件名	補正額	合計	説明
国民健康保険事業特別会計	0	13億2640万円	債務負担行為の設定
太陽光発電事業特別会計	0	7140万円	債務負担行為の設定
水道事業会計補正予算	800万円	2億2407万円	県からの補修工事依頼による増額
西伯病院事業会計補正予算	2138万円	24億7459万円	光熱水費の高騰 運営資金の不足 債務負担行為

ゼロ債：翌年度以降の支出を伴う契約等の行為を行うために議会の議決を経て設定されるもの。

陳情結果

陳情	案件名	陳情者	可否
第8号	南部町保育所統合に係る基本構想を改定することを求める陳情書	野口 太郎	不採択
第9号	統合保育所設置計画の進捗について町民に広く周知することを求める陳情書	野口 太郎	採 択
第10号	南部町による不当な職業差別の是正を求める陳情書	野口 太郎	採 択

陳情：どなたでも提出できます。提出された陳情のうち南部町住民の方からの陳情及び直接持参された陳情は請願に準じた要領で取り扱います。紹介議員の必要はありません。

一般質問

白川 白川 立真 議員
国の防災アドバイザーの山村先生は、「全ての防災危機管理は事前対策が8割だ」と事前対策の重要性を指摘している。11月に行ったボランティアセンター設置訓練について、見えてきた課題を問う。

町長 町長 白川 立真 議員
まず、地震や水害などそれぞれの災害に応じた設置場所の問題、時間とともに変わっていく被災者のニーズに対して、支援ボランティアを任務別や技能別に分けていく事の難しさなど様々な課題がみえてきた。ボランティアとのマッチングが課題となるが、それぞれの災害ではどんなニーズが発生しどのように発信していくのが重要だ。様々な災害

町長 町長 白川 立真 議員
ケースを想定した訓練が必要と思うがどうか。ボランティアとのマッチングが出来なくて帰られたケースもある。そのような事にならないよう、発信も含め被災者ニーズにどう応えていくのか検討していきたい。

町長 町長 白川 立真 議員
国は南海トラフ地震などに備えるため防災省の構築を進めている。南部町でも町民主体の地域防災が大きな力ギを握る。しかし、地域防災力が高いとはいえない。「今なにを備えなければならぬか」を共有してほしいと思うがどうか。

町長 町長 白川 立真 議員
能登半島地震を例に見ても、地域内で助け合う互助の課題、トイレの問題、電気や水の問題など行政の公助が届くまで様々な問題が発生している。それらのことを含めて町民皆様と共に問い直していきたい。



白川立真 議員

災害に強いまちづくり

Q 事前の危機管理に重点を A 町民と共に課題を問い直したい

町長 町長 白川 立真 議員
町として把握は出来ないが相続登記されていない森林や、所有者も場所が分からない、境界が分からないなどの実態があると認識している。航空測量を活用し境界の明確化や山林管理も行政が責任をもって

町長 町長 白川 立真 議員
町として把握は出来ないが相続登記されていない森林や、所有者も場所が分からない、境界が分からないなどの実態があると認識している。航空測量を活用し境界の明確化や山林管理も行政が責任をもって

町長 町長 白川 立真 議員
山林を維持する考えを問う。引き受ける条件整備も検討していく。

町長 町長 白川 立真 議員
山林を維持する考えを問う。引き受ける条件整備も検討していく。

町長 町長 白川 立真 議員
町として把握は出来ないが相続登記されていない森林や、所有者も場所が分からない、境界が分からないなどの実態があると認識している。航空測量を活用し境界の明確化や山林管理も行政が責任をもって



埴田光雄 議員

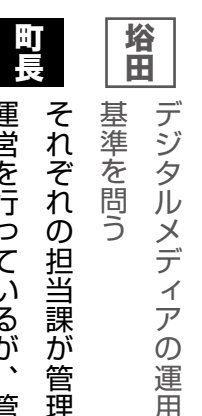
町のホームページ管理

Q 運用基準を問う A ガイドライン作成などの検討を進めていく

町長 町長 白川 立真 議員
町として把握は出来ないが相続登記されていない森林や、所有者も場所が分からない、境界が分からないなどの実態があると認識している。航空測量を活用し境界の明確化や山林管理も行政が責任をもって

町長 町長 白川 立真 議員
町として把握は出来ないが相続登記されていない森林や、所有者も場所が分からない、境界が分からないなどの実態があると認識している。航空測量を活用し境界の明確化や山林管理も行政が責任をもって

町長 町長 白川 立真 議員
町として把握は出来ないが相続登記されていない森林や、所有者も場所が分からない、境界が分からないなどの実態があると認識している。航空測量を活用し境界の明確化や山林管理も行政が責任をもって



埴田光雄 議員

令和6年12月定例議会一般質問ダイジェスト

議員名		発言時間	質問事項	
1	白川 立真	30	1	災害に強いまちづくり
2	埴田 光雄	30	1	町のホームページ対応
			2	山林の維持
3	荊尾 芳之	30	1	脱炭素、自然エネルギーの活用
			2	文化・芸術活動
4	秋田佐紀子	30	1	健康診査
			2	中学生のピロリ菌検査
5	板井 隆	30	1	3期目の町づくり
6	加藤 学	30	1	買い物支援
			2	今年の富有柿の収穫量
			3	会見地区でのデイスサービス
7	長束 博信	30	1	町政の柱
			2	文化財対応
8	仲田 司朗	30	1	農業用ため池の防災
			2	空き家対策
9	井原 啓明	30	1	島根原発事故防災
			2	ごみ分別・減量化の取り組み
10	真壁 容子	30	1	住民監査請求の監査結果
			2	統合保育園の建設・民間移管
			3	農振除外に関する意見書
			4	自衛隊への名簿提供と職業体験

※「QR コード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

議会活動日誌

10月		
日	曜日	会議・行事
1	火	西部広域行政管理組合議会ごみ処理施設等調査特別委員会
19	土	ねんりんピック総合開会式
22	火	ねんりんピック総合開会式
23	水	令和6年度南部町戦没者献花式
29	火	議会全員協議会 臨時議会（初議会） 本会議
30	水	日本海政経懇話会10月例会

11月		
日	曜日	会議・行事
2	土	町制施行20周年記念行事
3	日	西伯文化会館解放まつり
6	水	南部箕蚊屋広域連合議会臨時会
8	金	議会運営委員会 議会全員協議会 臨時議会 本会議
11	月	広報常任委員会②
13	水	全国町村議長会全国大会
14	木	中国横断自動車道岡山山米子線整備促進総決起大会
18	月	南部町・伯耆町清掃施設管理組合議会臨時会
21	木	広報常任委員会③

24	日	町制施行20周年記念表彰式
25	月	鳥取県町村議会議員研修会
26	火	議会運営委員会
27	水	西部広域行政管理組合議会定例会
28	木	広報常任委員会④

12月		
日	曜日	会議・行事
13	金	議会運営委員会 議会全員協議会 定例議会 本会議
14	土	南部町社会福祉推進大会
16	月	定例議会 一般質問
17	火	定例議会 一般質問
18	水	定例議会 一般質問
19	木	常任委員会
20	金	常任委員会
23	月	常任委員会 議会全員協議会
24	火	議会運営委員会 議会全員協議会
25	水	定例議会 本会議

【質問の通告】
一般質問は、議案と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。
【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。
町民皆様の声を町政に問います。



脱炭素、自然エネルギー活用

Q 環境省の重点対策加速化事業の取組は
A 6年間の利用増に向けさらに推進する



荊尾 芳之 議員

荊尾 南部町重点対策加速化事業が始まった。各メニューの取組と今後の見込みについて問う。

荊尾 町は、2050年に温室効果ガス実質ゼロに向けて、自然エネルギーの活用などについて取り組んできたのかを問う。

町長 町は、令和2年3月議会

で二酸化炭素の排出実質ゼロ宣言を行い、脱炭素の取組を表明した。

その後、温暖化防止実行計画事務事業編の見直しを行い、地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入計画を策定し、公共施設への太陽光発電設備の導入、防犯灯のLED化、家庭用発電設備等の補助金の交付に取り組んでいる。

町長 今年度、環境省の重点対策加速化事業の補助採択を受け、令和1年度までの6年間の事業として、家庭用、事業

所用の発電設備導入補助金の新設、補助額の増額を行っている。

今年度は、家庭用太陽光発電設備18件、蓄電池が20件、高効率給湯器が21件、太陽熱利用機器が1件である。1月には事業所向けセミナーを開催し、さらに利用増に向け、工夫し広報を行う。また、金融機関や事業所、専門分野の方々の意見を聞き事業を推進する。

荊尾 南部だんだんエナジーが行っている太陽光発電の効果

を問う。

町長 令和2年度から南部だんだんエナジーが環境省の補助金を活用し、公共施設に太陽光発電設備、蓄電池の導入を

行った。キナルなんぶ等では、蓄電池を地下埋設による自営線で接続し、平時は、電力の相互利用を、有事には各施設で蓄電池を活用できるマイクログリッドを構築している。

文化・芸能活動

Q スポーツ同様に文化・芸能にも支援を
A 広い世代の文化・芸術にも支援を行う

荊尾 南部町では、スポーツには大会派遣等への助成金

が整備されているが、文化・芸術活動に関しては整備されていない。スポーツ同様に助成金の支援を行うことができないか問う。

教育長 本町では、学校教育活動で、鳥取県を代表して大会等に参加する際、移動、宿泊、参加費等の経費を補助している。

スポーツだけでなく文化・芸術活動も同様の仕組みだ。近年では、中学の部活の創作部、科

学部にも助成した。小学校の金管クラブにも中国大会、全国大会で助成を行った。

小中学校の教育活動以外や一般の方々への支援については文化・芸術活動に関しては、町規模の団体がなかったため、整備されていないが、鳥取県文化政策課に優れた文化芸術活動支援事業があるので案内する。

また、町として、広い世代に対する文化・芸術活動に支援を行っていく。

健康診査

Q 眼底検査・聴力検査の実施を
A 現時点では検査を行わない



秋田 佐紀子 議員

秋田 自覚症状のないままに進行する目の病気がある。

早期発見には眼底検査が有効である。しかし、健康診査での眼底検査はほばないに等しい。健康診査での眼底検査の実施を求める。

町長 視力検査は、労働安全衛生法による健康診断と、学校保険安全法による健康診断で実施されている。これには眼底検査は含まれていない。眼底検査は各医療保険者が実施している特定保険診査で医師の指示によりのみ実施となる。検査にはリスク、また予算が必要であること、行政が行う事業には公平であることが求められている。眼底検査は現時点では行わない。

秋田 加齢による聴力低下は認知症につながる傾向があるといわれている。就学中、就

業中は聴力検査が実施されている。しかし、それ以後聴力検査を受ける機会はない。認知症予防のためにも健康診査での聴力検査の実施を求める。

町長 健康寿命の延伸はとても大切なことだと思う。健康診査については毎年、医療機関懇談会において、町内医療機関の医師の方々のご意見をいただきながら、事業精査を行っている。現時点では聴力検査を行う考えには至っていない。

中学生のピロリ菌検査

Q ピロリ菌検査の実施を
A 前向きに検討する

秋田 ピロリ菌除菌は胃がんを予防できることが分かっており、中学生が除菌すれば予防効果がより確実になる。中学生の希望者のピロリ菌検査の実施を求める。

町長 ピロリ菌は、その菌が胃の中に存在することで、

胃炎の発症、胃がんのリスクになることから早期発見、早期治療は有効とされている。南部町でも、令和元年から30歳代の方に実施している。この検査は、町内医療機関の医師の方々のご意見と県がん対策協議会の胃がん部門の医師の方々に認めていただき実施となっている。中学生を対象とすることになれば、実施方法や陽性となった方への手当ての検討が必要となる。教育機関及び医療機関等とも協議を進めていきたいと考えている。



西伯病院

3期目の町づくり Q 4つの挑戦とは

A 人と人、人と地域が支えあう地域の構築



背景 町長3期目のマニフェストで、安心安全な暮らしや住みやすい町を目指し、4つの挑戦を掲げている。

町長3期目のマニフェストで、安心安全な暮らしや住みやすい町を目指し、4つの挑戦を掲げている。

板井 「安全すこやかに暮らす町づくり」①災害に対する危機管理の取り組み ②子育て・教育の町づくり ③公共交通の利便を高める取り組みについて問う。

町長 ①国も拡充を進めている、住宅耐震改修の促進が重要である。安価で改修可能な工法の提供に組みたい。

②7年度から始まる子ども計画では、貧困対策とこども支援事業を一体化した事業となる。今年度中に町民への意見を聴衆し

策定したい。
③公共交通は車両を小型化し利便性を促進する。



鳥取県の耐震化イラスト

板井 「子育て・教育の町づくり」①子どもたちに安全な保育、学校整備の取り組み ②高校生サークル、新青年団等、人材育成について問う。

町長 ①統合保育園について、外観イメージと保育園運営について記者発表を行った。今後、令和8年秋の開園に向けて進める。学校整備は個別公共施設計画に従って進めたい。②若者世代は、認め合い、

買い物支援

Q 社会福祉協議会が行っていた買い物支援は必要では
A 必要性を否定するものではない



背景 今年4月1日から社会福祉協議会が行っていた買い物支援がなくなった。利用していた人が不便に感じている。

加藤 現在、南部町で行われている買い物支援はJOC A南部とマックスバリュがあるがどんな形態で行われているか、これ以外にあるのか。

町長 JOC A南部はまるごう西伯店と共同して買い物支援を行っている。町民がまるごうの商品をインターネットで注文すればJOC A南部が注文された商品を自宅まで配送してくれる。

マックスバリューは移動販売車の運行を行っている。週5日

支え合い、ともに健康に生きる、なんぶ暮らしの主役となる人材であり、こうした若者の活動の場を充実させたい。

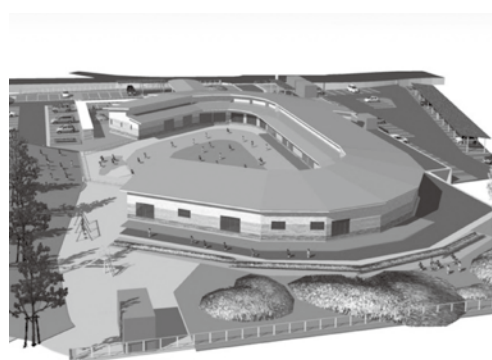
板井 医療と福祉の連携と施策について問う

町長 地域包括ケアシステムを進めるうえで欠かせないと思っている。

個別の課題から地域の課題を把握して、健康データを基にした連携事業を進めたいと思っている。

板井 「環境と共生の町づくり」

①里地里山のまち、自然と共生



総合保育園外観イメージ

会見地区のデイサービス

Q 事業所を公募すべきでは
A 結論がでるまで見守りたい

加藤 以前、この問題を取り上げた際、南部町が責任を持つて新しい事業所の誘致に取り組むべきだと質問した。その時、町長はする考えはないとの回答だった。ならば新しい事業所を公募するべきではないか。

町長 令和3年から令和8年までサービス量は横ばいで推移している。利用者が増える見込みのない状況で新しい事業所を公募することは考えていない。

加藤 利用者が増えないから公募をかけないというのはおかしい。南部町は公募の条件として、年間300万円の家賃が必要だとか、今まで利用者の状況を公募の条件として示せばよい。それらの条件で公募に応じるか応じないかは事業所の判断だ。



デイサービスの今

町長 今、地域振興協議会とスポネット南部の間でデイサービスの後の使い方について検討している。その結論が出るまで見守りたい。

する取り組み ②子どもから高齢者、男女、障がい者、それぞれが寛容で支え合う共生の町づくりを問う。

町長 ①農林業における担い手、後継者等の不在は重要な課題となっている。里地里山の観点では、定住対策や生活環境整備、防災等多様な取り組みを進めたい。②今後ますます進む人口減少、少子高齢化や担い手不足など、将来に向けた課題に対して、住み慣れた地域で自分らしく暮らししていくためにも、人と人、人と地域がつながり合い、支え合うことが求められている。課題の解決に取り組んでいきたい。



合同100歳体操

一般質問

町政の柱

Q 2期8年の成果と課題にどう取り組むのか

A 暮らし・教育・環境・活力の観点で取り組む



ながつか ひろのぶ
長束博信 議員

長束 2期8年の成果と課題は何か、また今後のまちづくりの政策の柱は何か。

町長 「暮らし」での成果は光ファイバー整備、コロナ

感染対策、たすかーど普及、バクシー、百歳体操展開中など。

課題は人口減少社会の中で処方箋はどこにあるのか暗中模索が最大の課題だ。又、能登半島地

震を教訓に防災対策の耐震制度を整える。「教育」では、全小

中学校にエアコン整備、中学校入学支援金とジェンダーフリー

制服へ変更など。課題は保護者から期待の統合保育園の早い開園や不登校対策の検討が急務だ。

「環境」では令和2年南部町2050年二酸化炭素排出実質ゼロ宣言と全国最高クラスの補助制度で町内脱炭素化を推進中。

更に充実させ経済発展の原動力とするGXを進めていく。

「活力」ではコロナで米価下落

への応援の農業用小型機械補助。課題は地産外商戦略が不可欠で

米生産、フーズロード構想を推進し独自化、ブランド化を図っ

ていく。

長束

人口減少で中山間地における集落機能維持や事業・文化継承が難しくなっている。行政としての支援・仕組みの考えは何か。

町長

集落機能が働く地域は人材活用がうまくできている。人口減少への特効薬はないが多様な人が行き来する集落を目指し、人つなぎの組織化、ネットワーク化、行政は人を繋げるファシリテーション力を持つ職員育成と考える。

文化財対応

Q 歴史的文化財の県内外への周知と取組みは

A ネット時代に合致した工夫が必要

長束

文化財としてどのようなものを認定し、登録しているのか。保管管理はどのようなに行っているのか。

教育長

町内の指定文化財は、古墳など史跡名勝、神社などの社叢（しゃそう）などの天然記念物、三角縁神獣鏡、佛像、法勝寺電車などの保護文化財、小松谷盆踊りや法勝寺一式飾りなどの無形民俗文化財で、国指定1件、県指定13件、町指定26件。

今回、11月に町では初めて国登録有形文化財として生田家住宅が登録される見込みとなりました。（正式には令和7年3月官報掲載後）

文化財の管理は原則所有者の保管管理となっている。ただ、古墳や遺跡などから出土したものは遺失物扱いとなり自治体が保管管理するよう義務付けられ

ている。

長束 南部町には歴史的な文化財が未整備を含め多数存在しているが、その整備と県内外への周知と観光資源などへの利用促進の考え方を問う。

教育長

整備と利用促進は所有者変更や詳しい調査など容易でない部分もあるが、バランスを考え進める。

合併以前からふるさと史跡めぐりなどいくつかの書籍を発行しているが、デジタル時代における保存、広報などネット上で見栄えが良く、国内外から訪れてみたいと思って頂けるような写真やストーリー性などを加えることで観光資源になり得るので、さらなる工夫が必要と考えている。

農業用ため池防災

Q 維持管理や修繕等の受益者負担経費の軽減は

A 一定の受益者負担が発生する



なかだ しろう
仲田司朗 議員

背景 農業用ため池の管理及び保全に関する法律が令和

元年7月に施行され、農業用ため池を対象に所有者による管理の努力義務が課せられている。

仲田

町内のため池数及び防災重点ため池の実態はどうなっているのか。

町長 町内には現在、利用のある農業用ため池は145か所がこの内56か所が防災重点ため池に指定されている。防災重点ため池は、万が一ため池が決壊した際の浸水想定区域内に家屋や公共施設がある。また人的被害を与える可能性のあるため池を県が指定しこの56か所の防災ため池の内緊急性の高い箇

所から県が事業主体となって整備をしていく計画である。

所から県が事業主体となって整備をしていく計画である。

仲田

農業用ため池を修繕する場合の国・県・町の補助制度はどうなっているのか。

町長

国事業では、事業費が800万円以上で受益者面積2ヘクタール以上が事業要件となっている。豪雨及び地震に対するための構造的安定性の確保を目的に大規模な改修が必要な時に活用される事業である。県事業では、事業費200万円未満で受益戸数2戸以上が事業要件となっている。町事業としては、事業費の2分の1で補助上限は20万円までで県事業等の要件満たさない小規模な改修等に対して支援を行うものである。

空き家対策

Q なんぶ里山デザイン機構の取組は

A 空き家の15%を減らすことができた

仲田

維持管理や修繕等の経費について受益者負担の軽減は出来ないのか。

仲田

本町では、なんぶ里山デザイン機構が中心となって空き家を借り上げ、リノベーションをして移住者に住んでいただいているが、なかなかそれだけでは空き家解消が出来ないのでは。

町長

本町では、昨年度、全町域を対象に空き家調査を行った結果、前回調査を行った平成27年の180軒から空き家が100増えていることが分かった。一方で、平成26年に始まったなんぶ里山デザイン機構の取組による空き家の利活用軒数はこれまでに54軒上っている。これらのことから、なんぶ里山デザイン機構の取組により330軒余りとなるはずの空き家

町長

ため池も含め、農地・農業用施設の整備を行う場合、一定の受益者負担が発生することについてご理解いただきたい。

仲田

住宅の建て替えやUターン者向けの住宅創出を促進する狙いの制度は考えられないか。

町長

現在、新築、中古物件を3世代同居の為のリフォームをされる方への助成金といった制度がありぜひ利用していただきたい。なんぶ里山デザイン機構が管理する空き家において、集落に対し移住者との親睦を深めていただく奨励金を支払う制度も設けている。

南部町で暮らしたいと移住を希望される方が増えていく、そのような未来を目指したい。

一般質問

島根原発事故防災

Q 南部町版の防災対策を

A 現状マニュアルで対応できる



島根原発2号機が福島原発事故以来12年ぶりに再稼働した。

背景

島根原発2号機が福島原発事故以来12年ぶりに再稼働した。

井原

南部町は30⁺圏外であるが町民からは不安の声も出ており町独自の防災対策が必要では。

町長

住民の皆さんに屋内退避などの対策周知や迅速な情報発信すること、防災訓練や研修会へ職員を参加させ、知識ノウハウ取得に努めている。

井原

南部町版避難計画を作る必要があるのでは

町長

地域防災計画の事故災害対策編で事前予防対策や中長期対策示している。現状の

避難計画と避難所運営マニュアルで対応できると考える。

井原

避難計画は他市町村との連携が重要ではないか。

町長

鳥取県の避難計画は国・県・各市町村等で協議決定され、国の原子力防災会議で了承されているので本町や西部町村では必要ない。

井原

町として原発再稼働に反対し、廃炉を求める考えはないか。

町長

国が行うエネルギー政策のひとつであり、町として求める考えはない。

ゴミ分別・減量化の取り組み

Q ゴミ分別・減量化の取り組み現状と改善は

A 要望に応じ、説明会を行っている

井原

ゴミ回収カレンダーと分別冊子だけでは分別を町民全体が理解するのは難しい。町・集落・収集業者と情報交換し定期的な説明会等を実施すべき。

町長

テノヒラ役場を活用したゴミ分別チャットボット、ゴミの日リマインダー通知を活用し周知を行っている。各集落からの要望に応じ、説明会を行っている。

井原

新しい集合住宅や外国人労働者の居住される住宅を経営される方に入居時のゴミ処理説明を求めることが必要ではないか。

町長

転入手続きの際、ゴミ収集カレンダー、冊子を渡しており不適切なゴミが出された際、管理者に連絡し、出し方の徹底を依頼している。

井原

町として生ゴミ処理機の周知、活用状況及び堆肥化を推進するアドバイス、指導を実施しているか。

町長

ホームページ、広報誌で補助制度の周知を行っている。今年はコンポスト型が1件、電動生ゴミ処理機が10件の申請がある。今後は広報等を通じて活用方法等の事例紹介などを検討する。

井原

ゴミ分別状況を把握している回収業者から聞き取りを行い、町として分別改善ルールを示せないか。

町長

収集業者が回収せず残す場合、理由を記載しシールを貼るようにしている。集落から確認依頼があれば、町担当者が業者に確認し、集落に説明している。

保育園の民間移管

Q 「説明は適切ではなかった」との監査意見をどう考える

A 交付税の問題より先を見た議論を



住民監査請求の監査結果が11月7日公表された。

背景

住民監査請求の監査結果が11月7日公表された。監査請求の内容は、町立保育園の統廃合・民間移管を進めるにあたり、民間移管の方が「町の財政負担が軽減される」説明の際に出された地方交付税の額が虚偽であり、保育園の統合・民間移管の差し止め、説明の撤回、再度の住民説明会等の開催等を求めたものであった。

監査結果は、経費の種類（保育園費等）ごとの交付税の算出方法は公表されていないため「真実とすることは見当たらず、虚偽とする理由はなく」棄却するという内容であった。

真壁

監査意見には、「請求は公的な根拠をもって示すことのできない額をめぐるもの」、同じく「法や制度で想定していない交付税額について、試算とはいえ、説明がなされたことは適切とはいいがたい」とあるが、ならば、公的根拠をもって示すことができない交付税と民間保育園の国の補助金を比べ、民間のほうが財政的に有利とした町の姿勢を監査はどのように認識しているか。

監査

監査としては、法や制度額について、試算とはいえ説明がなされたことは適切とは言えない。その点を踏まえて、今後の統合保育所の建設事業を進めて欲しいと思っている。

真壁

監査は「適切とはいいがたい」と言っている。町

真壁

町が「財政的に私立の方が有利」と説明したので、その根拠を示せと議会は一貫して言ってきた。交付税額を出せないというのであれば、どうしてそれを使って財政的に有利だと

町長

それは、建設費のところ、補助金の限度額をわきまえずに有利としたがそれは間違いであった。

真壁

建設費だけではない。財政審議会の答申の3項目目はどう書いてあるか。

町長

「民設民営には、建設費等整備費及び運営費に国・県からの補助が入るため町の財政負担が軽減される」これが3項目目だ。

真壁

運営費でも財政的に有利だとずっと説明してきたことを監査も認め、そのうえで適切ではないと言っている。町は公的に示すことのできない数字をもってきて、民間移管の方が有利だと言っているのだからこれを是正しないといけないのではないか。

町長

交付税の算定について明確にできないものに終始したのは非常にまずかったと思っている。考え方としては誤りがあるかもしれないが、試算値には間違いはないと考えている。

真壁

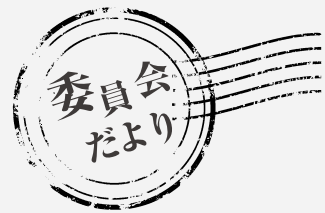
そういう説明は成り立たない。適切になるよう処置をとるべきだ。

町長

交付税の問題よりも、早く進めてほしいとの声を聴いている。先を見た議論をしたい。

一般質問

令和7年度 町政に対する要望事項



総務経済常任委員会より

1. 人口減少対策、少子化対策

- (1)人口減少対策に危機感を持って、施策を講じることが必要である。第3期子ども支援事業の計画の策定にあたり、子育て世代や子どもたちの意見を十分に聴取し、時代に沿った子ども支援計画の策定を求める。

2. 農業対策

- (1)南部町の基幹産業である農業を守り、生活が成り立つ農業にすることが必要である。イネカメムシの被害は来年も不透明であり引き続き対策を求める。また、今年度は南部町の特産品である梨・柿がカメムシ、夏場の高温、ヤガなどで収量が大きく減っている。県は防除網の補助を行っている。町独自の財源を更に投入し、農業を守る施策を求める。
- (2)零細農家に対する農業機械購入等補助を町単独でも立ち上げ、耕作放棄地の解消に努める施策を求める。

3. 緑水湖周辺の公共施設の整理を求める

- (1)緑水湖周辺の公共施設及び周辺環境の利活用について、将来の構想を早急に講じることを求める。
- (2)湖面利用（貸しボート）の整備について、再三要望しているが対処されていない。観光地にあって景観、環境に悪影響を及ぼしており、早急な対応を求める。

4. 町道対策

- (1)小中学校の通学路（歩道）を安心安全な登下校が出来るよう、実態を調査し除雪対策を求める。
- (2)高齢化により集落維持が困難になっている。県道や集落間の道路の草刈り作業等を南部町ふれあい道路サポート事業で対応する共助だけでは出来なくなっている。集落要望により現状を把握し、適切な道路維持の対応を求める。

5. デジタル推進への対応

- (1)南部町の顔であるホームページをはじめSNS等による情報の発信について、南部町として統一されたルール確立を求める。



民生教育常任委員会より

6. 子どもの教育機会均等

- (1)進学奨励金支給事業の対象者の拡大と支給額の増額
現在の進学奨励金支給事業は、大学生が月9,000円、高校生が月6,000円である。更なる支給対象の拡大と支給額の増額を求める。
- (2)奨学金制度の創設
今、日本は物価高、実質賃金は減少している。子どもの教育機会の均等を守ることから南部町独自の奨学金制度の創設を求める。

7. 人権対策の更なる強化

- (1)ジェンダー平等の観点からジェンダー格差の解消に向けて町民に対する啓発と町民が相談できる体制を整えることをはじめ、あらゆる差別を解消するための行政施策の充実を求める。

8. 保育園の運営

- (1)保育園は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場である。子どもたちの個性や成長に合わせ、よりきめ細やかで質の高い保育を求める。
- (2)保育士については、引き続き職員確保、待遇改善、格差是正を求める。
- (3)新園建設にあたっては、遅滞なく広く住民に周知することを求める。

9. 環境対策の抜本的な充実

- (1)「南部町地域脱炭素に向けた再エネの最大限導入のための計画」にもとづき、民生部門（家庭）への再エネ設備導入を促進するため抜本的な補助制度を求める。また、近年のエネルギー価格高騰から二酸化炭素排出抑制及び防災に資する町民の備品導入に対し補助制度の創設を求める。

10. 学校給食費の負担軽減

- (1)子育て支援の立場から子育て世帯を守るためにも給食費の無料化を求める。

11. 健康対策

- (1)現在、胃がん予防のためのピロリ菌検査を30代で実施しているが、対象年齢を引き下げ予防強化の実施を求める。
- (2)医師が必要と認めた場合に行われるが、緑内障をはじめ網膜に異常をきたす疾患の早期発見、早期治療で視力の維持、改善を図るため眼底検査の実施を求める。
- (3)加齢性難聴は抑うつや閉じこもりによるフレイル（虚弱状態）につながるといわれている。認知症やヒアリングフレイルの予防を図る聴力検査の実施を求める。
- (4)西伯病院に人工透析の機器を設置することを求める。

「にこまるキッチン」って何？

にこにこまるまる！ご本人そのものでした。



焼き上がり

はせがわ ゆか
長谷川 由香 さん ～プロフィール～

にこまるキッチン代表

パン作り教室、肉まん作り教室、イベント出展、パンの販売、もちつき、味噌作りなどやっています。パン作り教室・湯種（ゆだね）食パンが評判です。

Bond（ボンド）合同会社 代表社員

4月から南部町市山の「えぷろん」を指定管理する会社を立ち上げました。

問い合わせ

070-2838-5288 長谷川まで
パン作りの募集はLINEで行っています
LINE登録をお願いします。



Q 何故パン作りを始めたのですか？

A スポnetなんふのイベントでパン作り教室をすることになり、参加者を募りました。参加希望者が多く、1回の予定が4回になりました。パンを作りたい人が多いと思ってはじめました。家族が喜んでくれるパンを作っていました。わたしのパン作りは独学です。

Q これからやりたいことは何ですか？

A パン作りだけではなく、豆腐作りにも挑戦したいです。町内のイベントに出展してパンの販売もしたいです。

今回参加した人の声

「他の教室ではこんなにパンを持って帰れません」

（当日は3,000円でウインナーパン、くるみパン、アンパン各6個、コーンマヨチーズのちぎりぱん1個。これが基本料金です）

「家で作ると、とても一度に4種類は作れません」

（粉の計量から1次発酵までは長谷川由香さんがおこないます。参加者は主にパンの成形だけです）

「地元の市山に住んでいますが、にこまるキッチンを知りませんでした。米子の人から、教えてもらいました」にこまるキッチンでのパン作りは南部町内ではまだ宣伝不足のようです。



あどがき

12月議会より完全ページレス化になりタブレットのみで議事進行が行われました。1年間の試験運用だけではスムーズな進行とは言えませんが、試行錯誤しながら活用できるように努力していきます。

今回の議会だよりは12月定例会で上程された新規の指定管理者へ取材をして表紙の写真と探検隊として掲載しました。

今後も町民の皆様が知りたいことや、知らせたい事を広報委員で選んで、見て・読んでいただける議会だよりを作っていきたいと思っています。

（塔田）

広報常任委員会

委員長

副委員長

委員

塔田 光雄
加藤 学
景山 浩
板井 隆
白川 立真
長束 博信
井原 啓明
秋田 佐紀子